

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
(仮称)福岡市南区高宮一丁目 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							2.7
Q1 室内環境			0.40		-		3.3		
1 音環境		4.0	0.15	3.3	1.00		3.5		
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		5.0	0.50	3.6	0.50				
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2以上。	5.0	1.00	5.0	0.30				
2 界壁遮音性能	-	-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音	-	-	-	-	-				
2 温熱環境		1.6	0.35	4.0	1.00		3.0		
2.1 室温制御		2.2	0.50	4.0	1.00				
1 室温	-	3.0	0.63	-	-				
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	1.0	0.37	4.0	1.00				
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-				
2.2 湿度制御	-	1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式	-	1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		2.8	0.25	3.7	1.00		3.3		
3.1 昼光利用		4.0	0.32	3.4	0.50				
1 昼光率	2.0% ≤ [昼光率]。	5.0	0.53	5.0	0.50				
2 方位別開口	-	-	-	1.0	0.29				
3 昼光利用設備	-	3.0	0.47	3.0	0.21				
3.2 グレア対策		1.0	0.26	4.0	0.50				
1 昼光制御	庇とカーテンレーを組み合わせることで制御。	1.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度	-	3.0	0.13	-	-				
3.4 照明制御	-	3.0	0.28	-	-				
4 空気質環境		3.2	0.25	3.6	1.00		3.4		
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		2.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/6以上。	-	-	5.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮	-	1.0	0.50	1.0	0.33				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-				
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		2.6		
1 機能性		1.4	0.40	2.0	1.00		1.7		
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	2.0	0.60				
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	2.0	1.00				
3 バリアフリー計画	-	1.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観	-	-	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-				
3 内装計画	-	1.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	-	2.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-		3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数	評価方法基準で等級3相当。	5.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VP(B)、排水VP(B)、給湯(C)、Eは不利用。	5.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備	-	2.0	0.20	-	-				
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA。	4.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり	階高:2.910m。		-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	-		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00			
1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性	通信配線は空配管内に設置されます。		5.0	0.10			
5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30			2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	-		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							#####
LR1 エネルギー			-	#####			3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。		4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用	-		2.1	0.10			2.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.88		3.9	0.50			3.9
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			-	-			
4.1 モニタリング	-		-	-			
4.2 運用管理体制	-		-	-			
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング	-		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制	-		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	#####			3.2
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水	-		4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	1.00			
2 雑排水等利用システム導入の有無	-		-	-			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60			3.2
2.1 材料使用量の削減	-		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材、床材:ビニル床シート。		4.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。		4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70			
1 消火剤	-		-	-			
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。		4.0	0.50			
3 冷媒	-		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	#####			#####
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が77%。		#####	#####			#####
2 地域環境への配慮			2.9	#####			2.9
2.1 大気汚染防止	-		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善	-		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			
1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制	I-1 自転車置き場の確保 II-1 駐車スペースの確保 II-2 荷捌き用車両の駐車施設の確保		4.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制	-		1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			2.7	#####			2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音	-		3.0	1.00			
2 振動	-		-	-			
3 悪臭	-		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制	-		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制	-		-	-			
3 日照障害の抑制	-		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			1.6	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-		1.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30			

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

(仮称)福岡市南区高宮一丁目 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		-	○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	3.0		-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0		-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH - 屋光率 2.4% 自然換気有効開口面積率 19.8%
3.1.1 屋光率	屋光率 2.4%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 19.8%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 0㎡/人 病床 0㎡/床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 2.91 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 24% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 45% 水平投影面積率 5% 地表面対策面積率 13% 舗装面積率 39%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級4 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 - 住宅 0.88 太陽光 0kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 3
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 188% 隣棟間隔指標Rw 0.09 地表面対策面積率 21.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b 1.244㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 38.2 m 基準高さH _b 17.27 m 緑地 63㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡